

3. 2から見た中心経営体の確保状況

| | |
|--------------------------|---------------|
| <input type="radio"/> | 担い手は十分確保されている |
| <input type="checkbox"/> | 担い手はあるが充分ではない |
| <input type="checkbox"/> | 担い手がいない |

4. 将来の農地利用の在り方

| 取組事項 | 対応 | 備考 |
|-------------------------|-------|---------------------------|
| 担い手に集積・集約化する | 済 | |
| 担い手の分散錯圖を解消する | 計画有り | 面工事終了後集約予定。 |
| 新規参入を促進し、新規参入者に集積・集約化する | 検討中 | 後継者候補はあるが、検討する。 |
| 耕作放棄地の発生防止 | 全農地耕作 | |
| その他[個人経営から集落営農化] | 検討中 | 担い手の半数が高齢であり、集落型の法人化を検討中。 |

5. 4についての農地中間管理機構の活用方針

| 取組事項 | 対応 | 備考 |
|---------------------------------------|----|----|
| 地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に農地を貸し付ける | 済 | |
| 経営転換(リタイアも含む)する場合は原則として農地中間管理機構へ貸し付ける | 済 | |
| 経営耕地の集約化のための利用権交換は原則として農地中間管理事業を活用する | 済 | |
| その他[済] | | |

6. 今後の地域農業の在り方

課題 担い手の高齢化が5年後10年後の最重要課題となる。

対策 担い手4名の後継者は確保されているが、経営を個人経営から集落営農法人化する。

3. 2から見た中心経営体の確保状況

| |
|--|
| <input type="radio"/> 担い手は十分確保されている |
| <input type="checkbox"/> 担い手はあるが充分ではない |
| <input type="checkbox"/> 担い手がいない |

4. 将来の農地利用の在り方

| 取組事項 | 対応 | 備考 |
|-------------------------|--------|-------------------------------|
| 担い手に集積・集約化する | 実施している | 基盤整備地区集積済。基盤整備地区外集積計画有り。 |
| 担い手の分散錯圖を解消する | 計画有り | 〃 |
| 新規参入を促進し、新規参入者に集積・集約化する | 検討中 | 希望者がいれば検討する。 |
| 耕作放棄地の発生防止 | 実施している | 不作付地の発生防止対策として転作作物の作付け等行っている。 |
| その他[耕作条件の改善] | 計画有り | 基盤整備事業計画有り。 |

5. 4についての農地中間管理機構の活用方針

| 取組事項 | 対応 | 備考 |
|---------------------------------------|--------|------------------------|
| 地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に農地を貸し付ける | 実施している | 基盤整備地区集積済。基盤整備地区外計画有り。 |
| 経営転換(リタイアも含む)する場合は原則として農地中間管理機構へ貸し付ける | 実施している | 基盤整備地区済。基盤整備地区外計画有り。 |
| 経営耕地の集約化のための利用権交換は原則として農地中間管理事業を活用する | 計画有り | 基盤整備事業に係る面的集積計画有り。 |
| その他[地域でのまとまった農地集積] | 計画有り | 基盤整備事業計画有り。 |

6. 今後の地域農業の在り方

| |
|---|
| <p>課題 耕作条件の改善が必要。 担い手は十分確保されているが、高齢化による耕作者不足が問題化する可能性が大きい。</p> <p>対策 農地中間管理機構を活用し、基盤整備地区の担い手集積率は100%となった。今後5法人へ権利移転予定。 地域集積協力金を活用して基盤整備区域外の農道、用排水路を整備する。 設立予定の法人、他地区からの参入者及び新規就農者への農地集積を進め、不作付地発生防止を図る。</p> |
|---|